

KKAK

巨乳のあの娘をあーしたい、こーしたい


○学生だけと
超巨乳の女の子



○るーじゅら







私のクラスには
おっぱいの大きな
娘が……

教室の中で
彼女の存在は
光っていた。


○はたはた
のが信じられ
なかつた……



服がうあふれぞん
ばかしの
おぼろ……

彼女のそばから
後ろから
そみたい……

手におさまる
何ごい見と死ぬほど
はぬ指の……



一度は完全に
出合いがしらに
おっほいが当たった
事があった。

その日は何度も
ナイター。


この年、一歩
彼女の事だけ
考えよふたになっ
た。



この年、一歩
体……おぼろ……
もう戻がVMOJYだっ

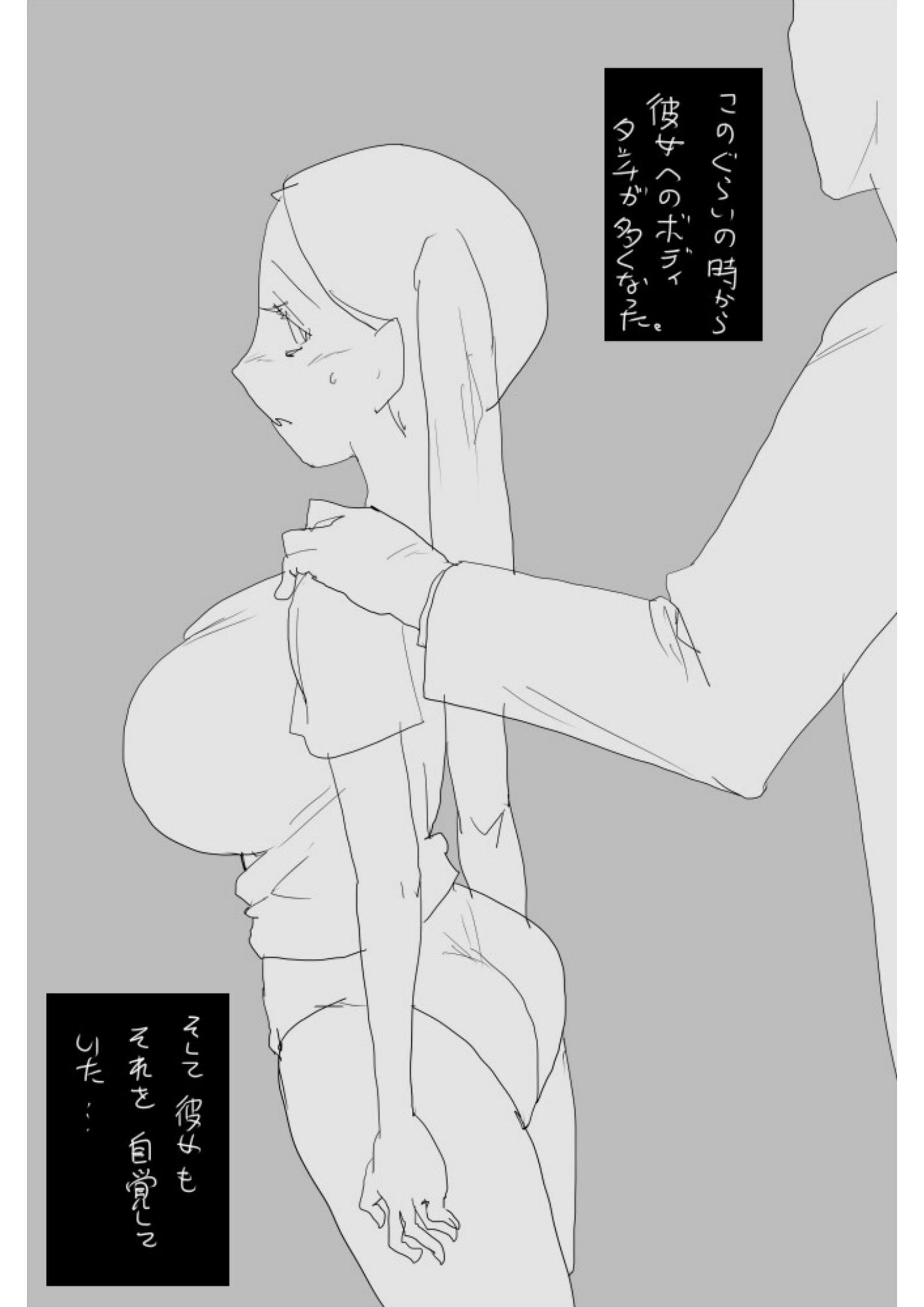
どうしても
がまごどまごに
風俗にも行きた

しかし彼女のまよな
巨乳はいなかた。



夏のプールは
とくにやばかった
……

胸の谷間に目が
いき、それさ
彼女にたがづかれて
いた。



「この瞬間から
彼女へのボディ
タッチが多くなった。

そして彼女も
それを自覚して
いた……



私は彼々に
おまじきんこ
「好子」だど……

「私も……」
「好き……」




……意外な
展開だった……



こうなること、もう止まらな
かった。
私は彼女にキスし、
おぼろに手をのびた。



服をぬいで
その一言は、彼女の
おっぱいがあらわに
なる……



後^り向き
な^いこ^ら...

彼女は私の言う事に
全^くしたがった。
お尻にあまただけで
イキまうになる。

あっっっっっ
あっっっっっ♡
先生っっ
っ



私は立ちバツで
彼女を犯した。

彼女は痛いのも
必死にこらえている。
「先生が喜ぶなら
……」

私の大きい物を
必死にこらえる彼女の
涙に私は胸を運田こ
中に出してしまた……



やほっ……
妊娠した……
どうしよう……


「大丈分な目よ……先生……」
彼女は私のごとく思わな
いた。





オナニー (220000)
見せてくれる...

私の指示に彼女は
中心実にとたがっ...
小さな体がまさか大人の
ような色気をもつてくるんだ。




大事なおっぱいを
もみながら彼女は
イッてきました。

「はあ、… 尻ほ、…」
私は たまらなく
なぞりました。




私の下このせ
彼女はうれしそうに
口に入ろ子...

教室という事が
此の従い感と
増たせられた...



私は彼女ののどから
射精した。

きれいな顔を
犯す感じが
たまらない……



まだまだ

足りな〜

「の大きなお尻」

彼女は疲れたが、
私はパイプリーを
強要した。

大人の女性よりも
大人のおっぱいぞ
ハイズリー……




私の欲望の
かたまりが
彼女の体と顔に
注がれる……

その後も私は
彼女を机に座らせ
挿入しっぱなしの
状況を楽しんだ。


大人の体方に
彼女はここのけな
い状況だった。





彼女の体はとくに
限界だが
私の物はまだまだ
元気だ。

「先生……
セッ……」
いやがっす彼女にすっげえ
私がか燃えさるだけだ。



バツリから何度か
彼女を突き、
数回中折した。

もう彼女の体は
こわもそだった
……



けっきょく彼女を
解放したのは
10回以上犯した後だっ
た……

しほいの問題、彼女は私に

「しほい」の問題、彼女は私に

やりすぎたか...

しほいの問題、彼女は私に





オマケ
……



夕月 原